

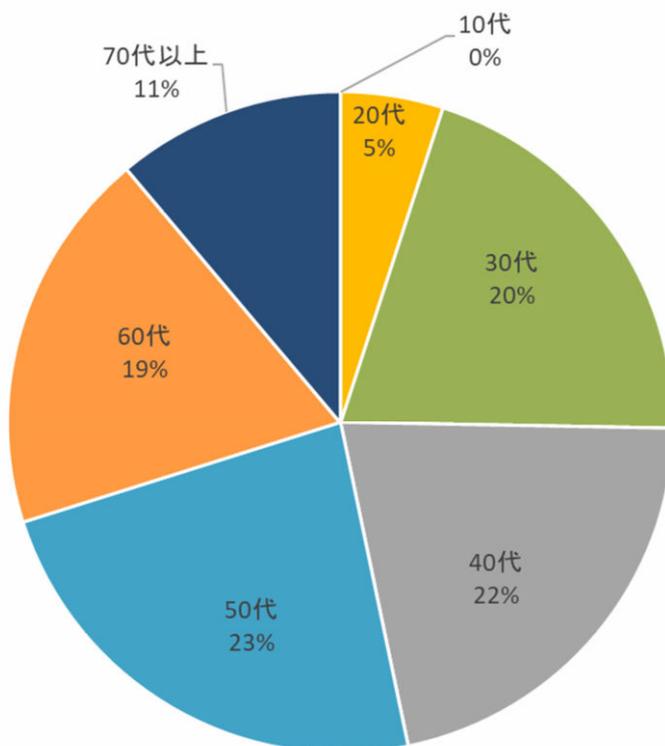
## 脱炭素（地球温暖化対策）に関する意識調査

調査目的： 県では令和3年3月に策定した「第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画」を今年度見直すこととしています。このアンケートは、地球温暖化に関する県民意識を調査し、計画に反映することを目的に行うものです。

調査期間： 令和5年7月5日～7月19日（15日間）  
調査対象： ながさきWEB県政アンケート全モニター（334名）  
回答状況： 回答者261名（回答率78.1%）  
調査担当課： 県民生活環境部 地域環境課

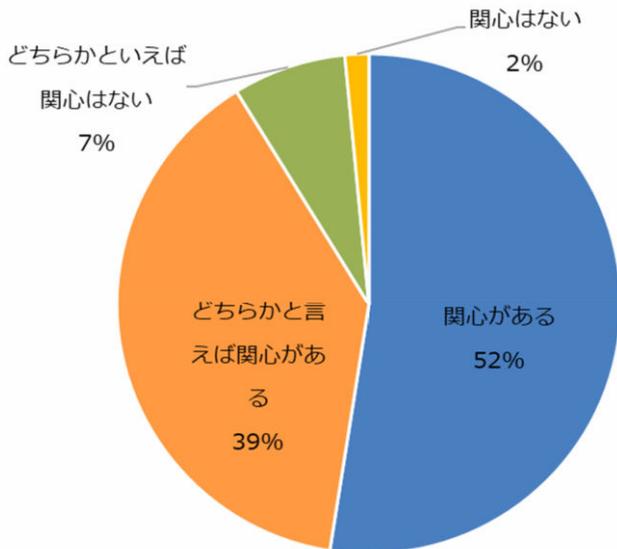
### ■回答者の属性

#### 【年齢構成比率】



| 年齢    | 人数  | 構成比  |
|-------|-----|------|
| 10代   | 0   | 0%   |
| 20代   | 13  | 5%   |
| 30代   | 53  | 20%  |
| 40代   | 56  | 21%  |
| 50代   | 61  | 23%  |
| 60代   | 49  | 19%  |
| 70代以上 | 29  | 11%  |
| 合計    | 261 | 100% |

**Q1. あなたは、地球温暖化対策について関心がありますか。（1つ選択）**

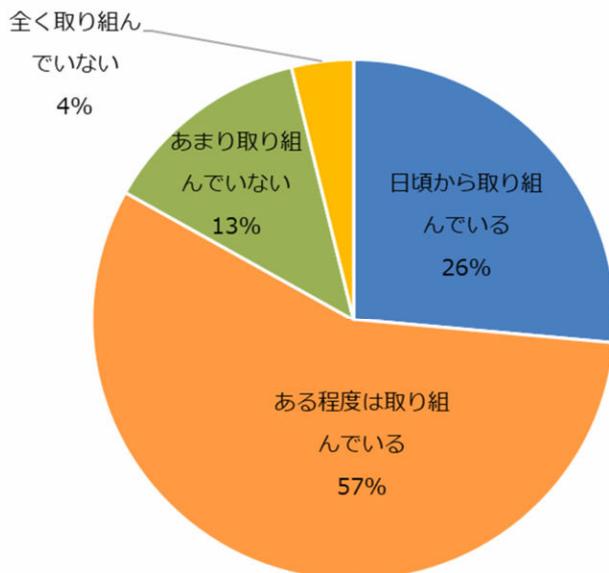


| 選択肢           | 回答者数 | 構成比  |
|---------------|------|------|
| 関心がある         | 137  | 52%  |
| どちらかといえば関心がある | 101  | 39%  |
| どちらかといえば関心はない | 19   | 7%   |
| 関心はない         | 4    | 2%   |
| 合計            | 261  | 100% |

**Q2. あなたは、現在、地球温暖化対策にどの程度取り組んでいますか。（1つ選択）**

（補足）

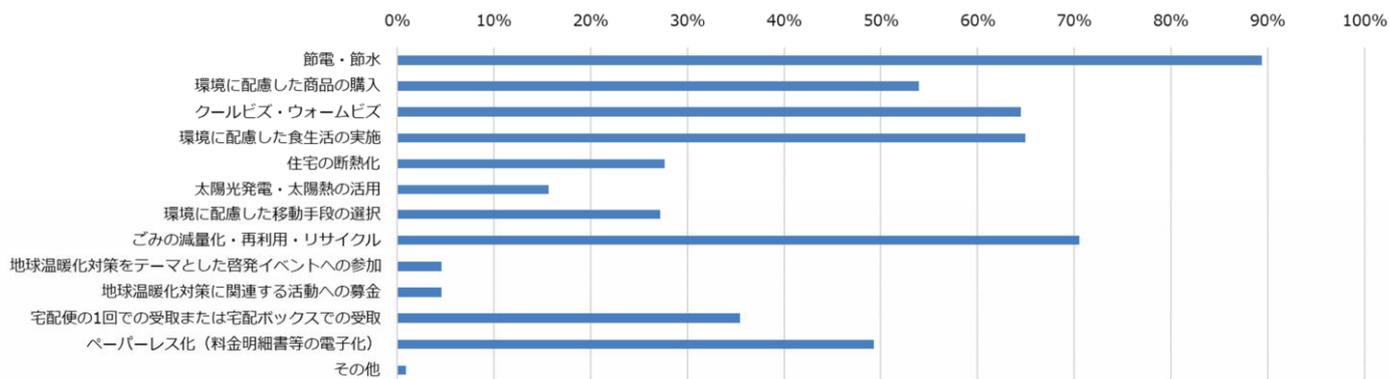
地球温暖化対策として、例えば、家庭での省エネ（節電・節水）、公共交通機関の利用、ごみの分別やリサイクル、環境イベントへの参加などがあります。



| 選択肢          | 回答者数 | 構成比  |
|--------------|------|------|
| 日頃から取り組んでいる  | 69   | 26%  |
| ある程度は取り組んでいる | 148  | 57%  |
| あまり取り組んでいない  | 34   | 13%  |
| 全く取り組んでいない   | 10   | 4%   |
| 合計           | 261  | 100% |

### Q3. あなたは、地球温暖化対策としてどのような取組をしていますか。(複数選択可)

※Q2で「日頃から取り組んでいる」、「ある程度は取り組んでいる」を選択した方への設問



| 選択肢                      | 回答者数 | 構成比 |
|--------------------------|------|-----|
| 節電・節水                    | 194  | 89% |
| 環境に配慮した商品の購入             | 117  | 54% |
| クールビズ・ウォームビズ             | 140  | 65% |
| 環境に配慮した食生活の実施            | 141  | 65% |
| 住宅の断熱化                   | 60   | 28% |
| 太陽光発電・太陽熱の活用             | 34   | 16% |
| 環境に配慮した移動手段の選択           | 59   | 27% |
| ごみの減量化・再利用・リサイクル         | 153  | 71% |
| 地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへの参加 | 10   | 5%  |
| 地球温暖化対策に関連する活動への募金       | 10   | 5%  |
| 宅配便の1回での受取または宅配ボックスでの受取  | 77   | 35% |
| ペーパーレス化(料金明細書等の電子化)      | 107  | 49% |
| その他                      | 2    | 1%  |

※構成比は回答者数(217)に対する割合

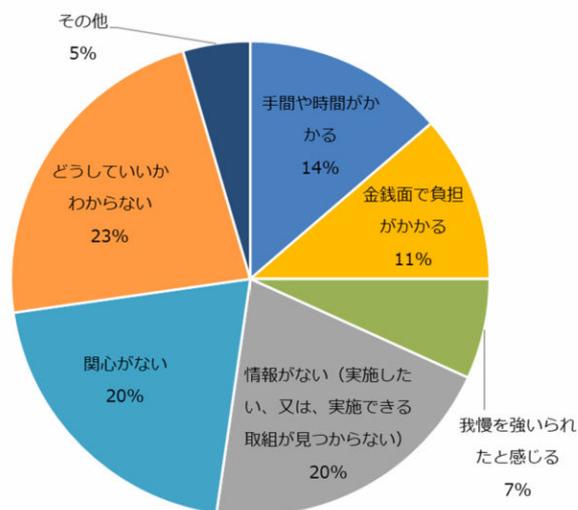
<その他の主な回答>

- ・燃料電池
- ・グリーンカーテン

### Q4. 地球温暖化に取り組んでいない理由として最も当てはまるものを選んでください。

(1つ選択)

※Q2で「あまり取り組んでいない」、「全く取り組んでいない」を選択した方への設問

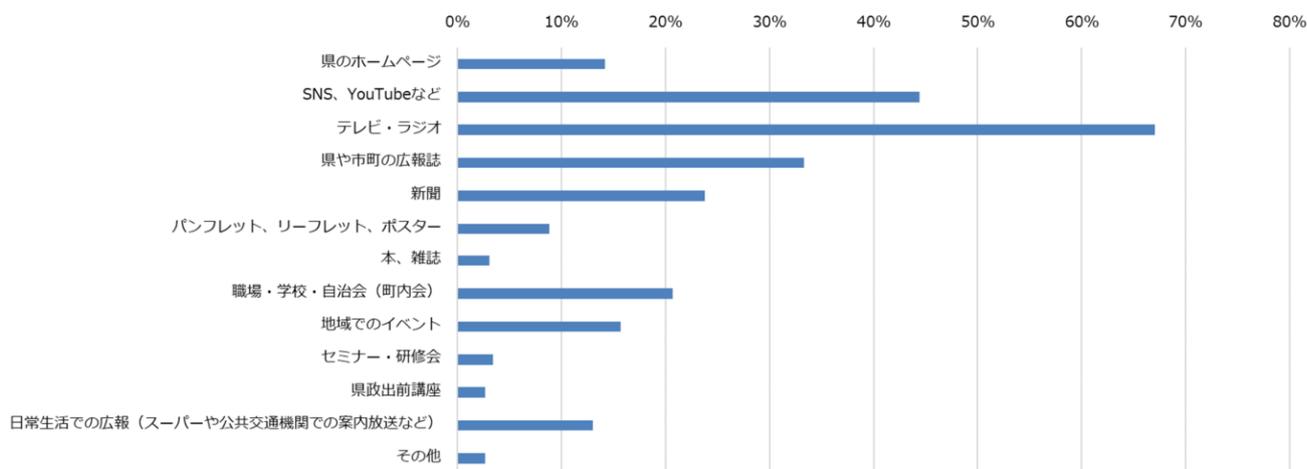


| 選択肢                            | 回答者数 | 構成比  |
|--------------------------------|------|------|
| 手間や時間がかかる                      | 6    | 14%  |
| 金銭面で負担がかかる                     | 5    | 11%  |
| 我慢を強いられたと感じる                   | 3    | 7%   |
| 情報が無い(実施したい、又は、実施できる取組が見つからない) | 9    | 20%  |
| 関心がない                          | 9    | 20%  |
| どうしていいかわからない                   | 10   | 23%  |
| その他                            | 2    | 5%   |
| 合計                             | 44   | 100% |

<その他の主な回答>

- ・地球温暖化が本当かどうか調べても辿りつけないから
- ・そんなに強く心配していない

**Q5. 国や県などの地球温暖化対策をより多くの人に認識してもらうために有効と思う媒体や機会は何ですか。（3つまで選択可）**



| 選択肢                               | 回答者数 | 構成比 |
|-----------------------------------|------|-----|
| 県のホームページ                          | 37   | 14% |
| SNS、YouTubeなど                     | 116  | 44% |
| テレビ・ラジオ                           | 175  | 67% |
| 県や市町の広報誌                          | 87   | 33% |
| 新聞                                | 62   | 24% |
| パンフレット、リーフレット、ポス                  | 23   | 9%  |
| 本、雑誌                              | 8    | 3%  |
| 職場・学校・自治会（町内会）                    | 54   | 21% |
| 地域でのイベント                          | 41   | 16% |
| セミナー・研修会                          | 9    | 3%  |
| 県政出前講座                            | 7    | 3%  |
| 日常生活での広報（スーパーや公共<br>交通機関での案内放送など） | 34   | 13% |
| その他                               | 7    | 3%  |

※構成比は回答者数（261）に対する割合

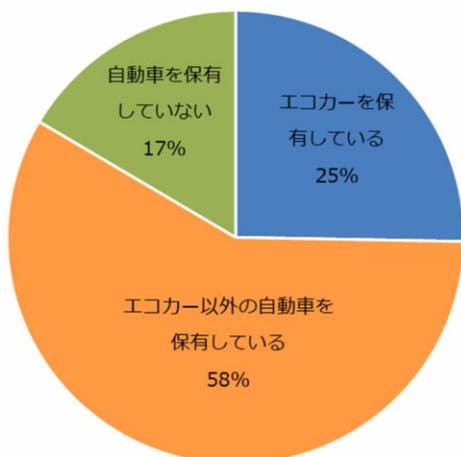
<その他の主な回答>

- ・ドラマなどに自然な形で話題にしてもらう
- ・企業への働きかけ、優良取組の紹介、税制面での配慮
- ・自治会での啓発
- ・LINE など

## Q6. 現在、ご家庭でエコカーを保有していますか。(1つ選択)

(補足)

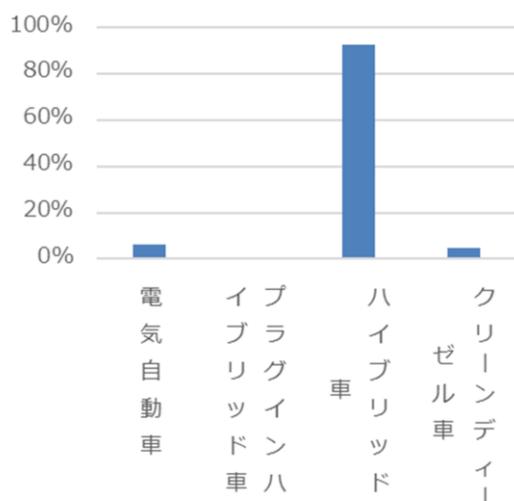
電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド車 (PHV、PHEV)、ハイブリッド車 (HV)、クリーンディーゼル車 (CDV) をエコカーと呼びます。



| 選択肢               | 回答者数 | 構成比  |
|-------------------|------|------|
| エコカーを保有している       | 66   | 25%  |
| エコカー以外の自動車を保有している | 152  | 58%  |
| 自動車を保有していない       | 43   | 16%  |
| 合計                | 261  | 100% |

## Q7. 保有しているエコカーはどれですか。(複数選択可)

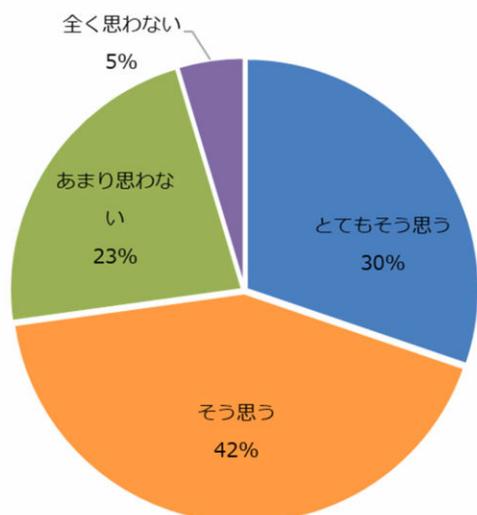
※Q6で「エコカーを保有している」を選択した方への設問



| 選択肢          | 回答者数 | 構成比 |
|--------------|------|-----|
| 電気自動車        | 4    | 6%  |
| プラグインハイブリッド車 | 0    | 0%  |
| ハイブリッド車      | 61   | 92% |
| クリーンディーゼル車   | 3    | 5%  |

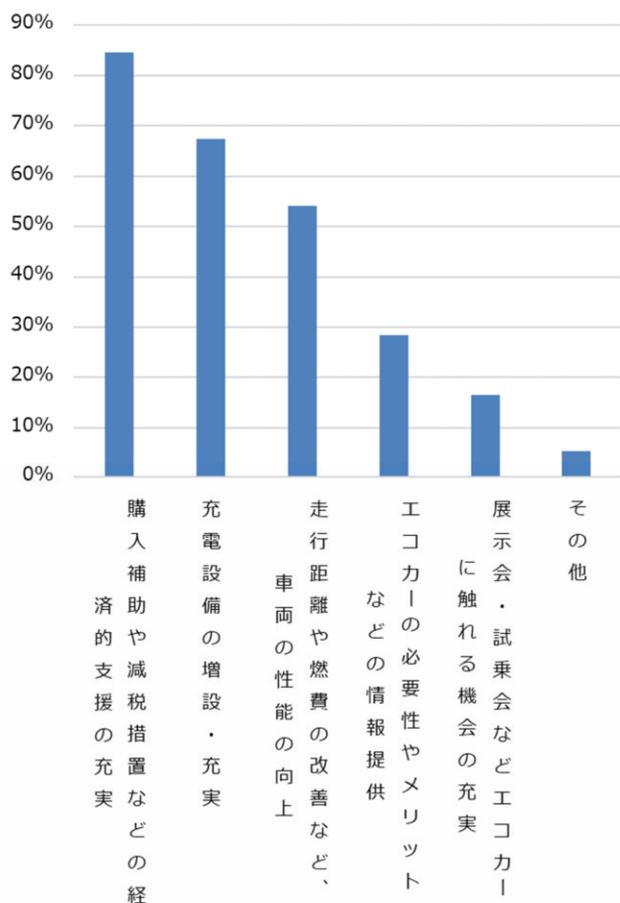
※構成比は回答者数 (66) に対する割合

## Q8. 今後、自動車を買ひ替えまたは新たに購入する場合、エコカーを選択したいと思いますか。(1つ選択)



| 選択肢     | 回答者数 | 構成比  |
|---------|------|------|
| とてもそう思う | 79   | 30%  |
| そう思う    | 111  | 43%  |
| あまり思わない | 59   | 23%  |
| 全く思わない  | 12   | 5%   |
| 合計      | 261  | 100% |

Q9. 今後エコカーをさらに普及させるために必要なことは何だと思えますか。(複数選択可)



| 選択肢                    | 回答者数 | 構成比 |
|------------------------|------|-----|
| 購入補助や減税措置などの経済的支援の充実   | 221  | 85% |
| 充電設備の増設・充実             | 176  | 67% |
| 走行距離や燃費の改善など、車両の性能の向上  | 141  | 54% |
| エコカーの必要性やメリットなどの情報提供   | 74   | 28% |
| 展示会・試乗会などエコカーに触れる機会の充実 | 43   | 16% |
| その他                    | 14   | 5%  |

※構成比は回答者数（261）に対する割合

<その他の主な回答>

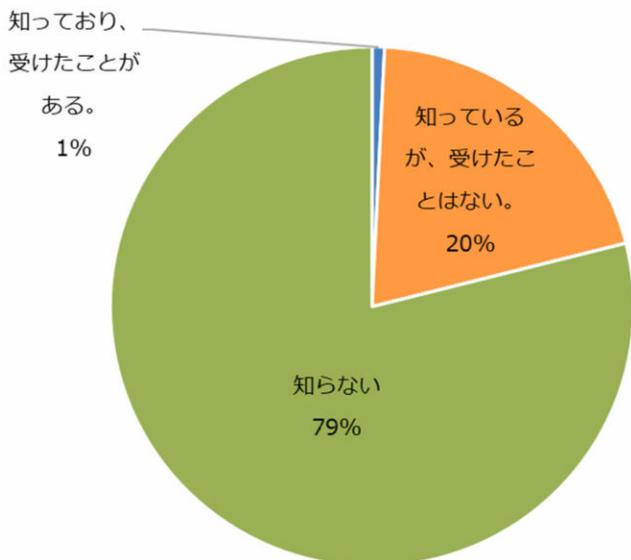
- ・ライフサイクル（製造から廃棄まで）での CO2 削減の証明、コスト・デメリットの改善
- ・基本的な国民への税制の見直し
- ・賃貸でも充電できる設備
- ・経済性と使いやすさの説明
- ・幼少期からの教育（排気ガスが地球環境、生物に及ぼす影響、過去と現在の現状等々）
- ・排出権取引ポイント制の導入
- ・日本のメーカーがエコカー主体に舵を切るような製造、販売業者や消費者への税制支援
- ・整備体制の充実 など

**Q10. 住宅の省エネ化について、「うちエコ診断」というサービスがあることを知っていますか。**

**(1つ選択)**

(補足)

「うちエコ診断」とは、専門の診断士が各家庭のライフスタイルや地域特性に合わせて、効率的な省エネアドバイスをを行うサービスです。



| 選択肢              | 回答者数 | 構成比  |
|------------------|------|------|
| 知っており、受けたことがある。  | 2    | 1%   |
| 知っているが、受けたことはない。 | 53   | 20%  |
| 知らない             | 206  | 79%  |
| 合計               | 261  | 100% |

**Q11. 住宅の省エネ化の取組として、以下に挙げるものを実施したことがありますか。**

**(1つ選択)**

<住宅の省エネ化の取組>

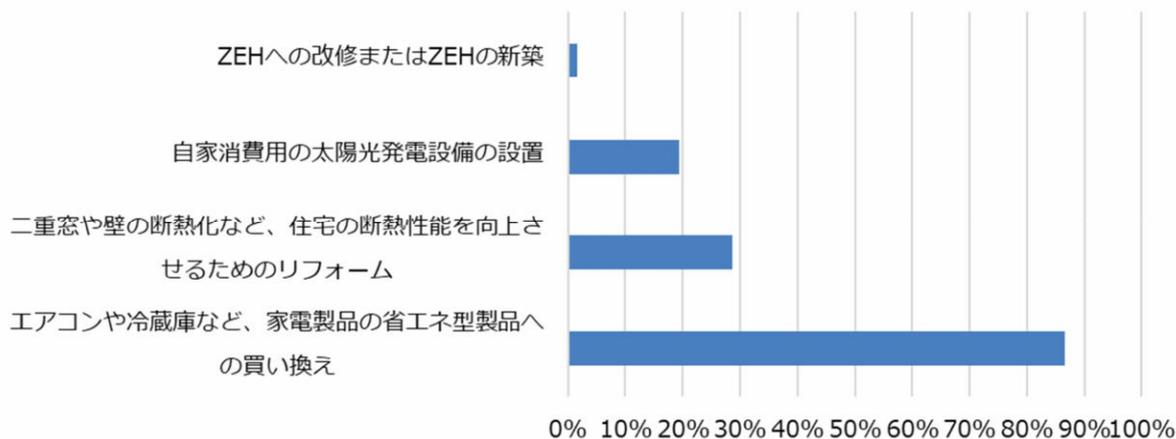
- ・エアコンや冷蔵庫など、家電製品の省エネ型製品への買い換え
- ・二重窓や壁の断熱化など、住宅の断熱性能を向上させるためのリフォーム
- ・自家消費用の太陽光発電設備の設置
- ・ZEH への改修または ZEH の新築 (ZEH: 上記 3 つの要素をすべて取り入れた次世代型のエコ住宅のこと)



| 選択肢        | 回答者数 | 構成比  |
|------------|------|------|
| 取り組んだことがある | 119  | 46%  |
| 取り組んだことはない | 142  | 54%  |
| 合計         | 261  | 100% |

**Q12. 住宅の省エネ化の取組のうち実施したことがあるものはどれですか。(複数選択可)**

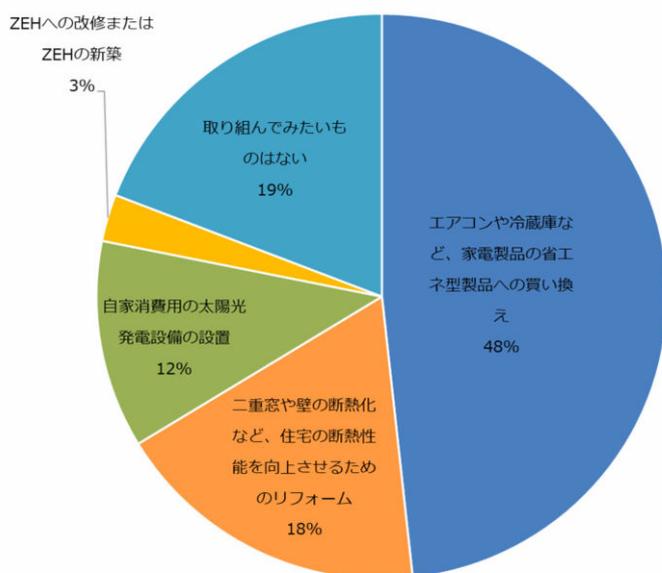
Q11で「取り組んだことがある」を選択した方への設問



| 選択肢                               | 回答者数 | 構成比 |
|-----------------------------------|------|-----|
| エアコンや冷蔵庫など、家電製品の省エネ型製品への買い換え      | 103  | 87% |
| 二重窓や壁の断熱化など、住宅の断熱性能を向上させるためのリフォーム | 34   | 29% |
| 自家消費用の太陽光発電設備の設置                  | 23   | 19% |
| ZEHへの改修またはZEHの新築                  | 2    | 2%  |

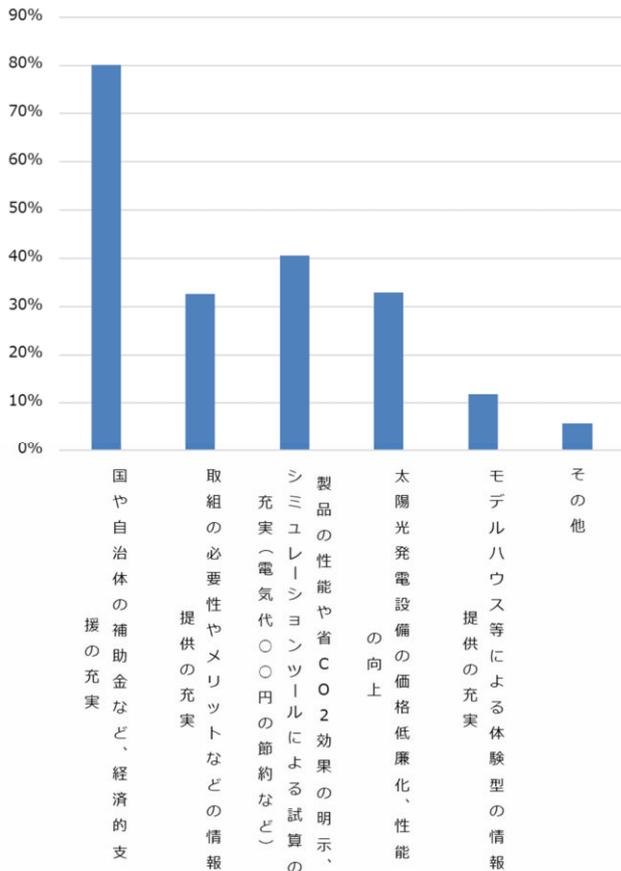
※構成比は回答者数（119）に対する割合

**Q13. あなたが今後取り組んでみたいと思う住宅の省エネ化の取組はどれですか。(1つ選択)**



| 選択肢                               | 回答者数 | 構成比  |
|-----------------------------------|------|------|
| エアコンや冷蔵庫など、家電製品の省エネ型製品への買い換え      | 126  | 48%  |
| 二重窓や壁の断熱化など、住宅の断熱性能を向上させるためのリフォーム | 47   | 18%  |
| 自家消費用の太陽光発電設備の設置                  | 31   | 12%  |
| ZEHへの改修またはZEHの新築                  | 7    | 3%   |
| 取り組んでみたいものはない                     | 50   | 19%  |
| 合計                                | 261  | 100% |

**Q14. 今後、住宅の省エネ化の取組を推進するのに必要と思うものは次のうちどれですか。  
(複数選択可)**



| 選択肢  | 回答者数 | 構成比 |
|--|------|-----|
| 国や自治体の補助金など、経済的支援の充実                             | 209  | 80% |
| 取組の必要性やメリットなどの情報の提供の充実                           | 85   | 33% |
| 製品の性能や省CO2効果の明示、シミュレーションツールによる試算の充実（電気代〇〇円の節約など） | 106  | 41% |
| 太陽光発電設備の価格低廉化、性能の向上                              | 86   | 33% |
| モデルハウス等による体験型の情報の提供の充実                           | 31   | 12% |
| その他  | 15   | 6%  |

※構成比は回答者数（261）に対する割合

<その他の主な回答>

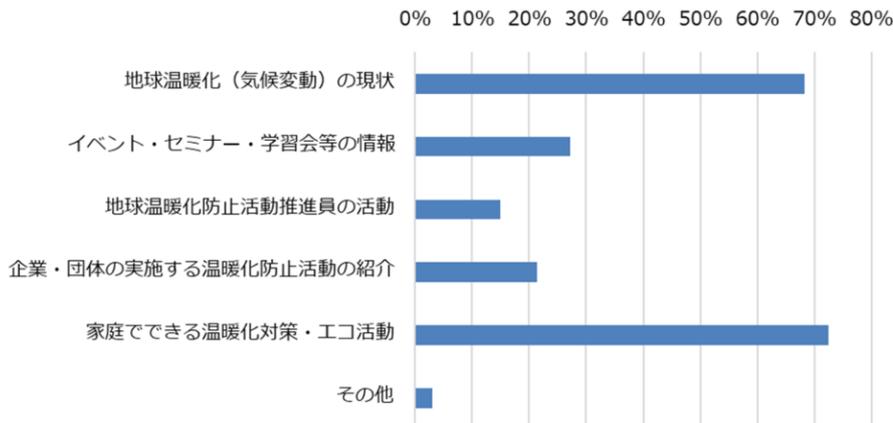
- ・新しく購入することばかりではなく、今あるものを大事に使いながらできる工夫を知りたい
- ・買い替えに伴う廃棄物の問題改善
- ・地域レベルでの発電電気の地産地消の取組
- ・ライフサイクル（製造から廃棄まで）での CO2 削減を証明すべき
- ・原発再稼働、新規原発建設
- ・コストパフォーマンスのシミュレーション、ツールによる定量分析とメリットの提示
- ・原発を優先した方針は転換すべき
- ・今後の新規住宅には太陽光発電を半強制的に設置させる、役所で義務化させる など

**Q15. あなたは、地球温暖化対策に関して、今後どのような情報を提供してほしいですか。**

**(複数選択可)**

(補足)

長崎県地球温暖化防止活動推進センターでは、県民、事業者や行政と連携して、地球温暖化防止活動の普及のため、地球温暖化の現状などの理解促進や家庭で実践できる温暖化防止活動などの情報を発信しています。



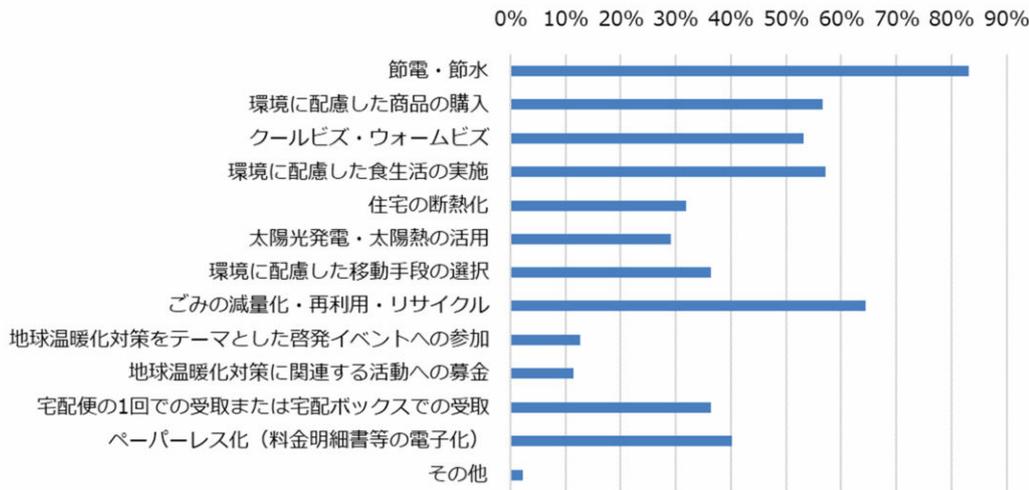
| 選択肢                  | 回答者数 | 構成比 |
|----------------------|------|-----|
| 地球温暖化（気候変動）の現状       | 178  | 68% |
| イベント・セミナー・学習会等の情報    | 71   | 27% |
| 地球温暖化防止活動推進員の活動      | 39   | 15% |
| 企業・団体の実施する温暖化防止活動の紹介 | 56   | 21% |
| 家庭でできる温暖化対策・エコ活動     | 189  | 72% |
| その他                  | 8    | 3%  |

※構成比は回答者数（261）に対する割合

＜その他の主な回答＞

- ・地球温暖化が本当かどうか、いろんな政策を推し進める前に考え直すこと、自然現象と人為的な行為をよく研究することは必要
- ・地域レベルでの雨水利用などの取組支援
- ・国や県の補助情報の発信
- ・親子イベント
- ・温暖化が進むとどんなことが困るのか、いつも忘れるので、それを定期的に知らせてほしい
- ・温暖化で地球の危機的な現状(氷山が溶けるスピード)などの情報をもっと知りたい

**Q16. あなたが、今後特に個人で取り組む必要があると思う地球温暖化対策は次のうちどれですか。(複数選択可)**



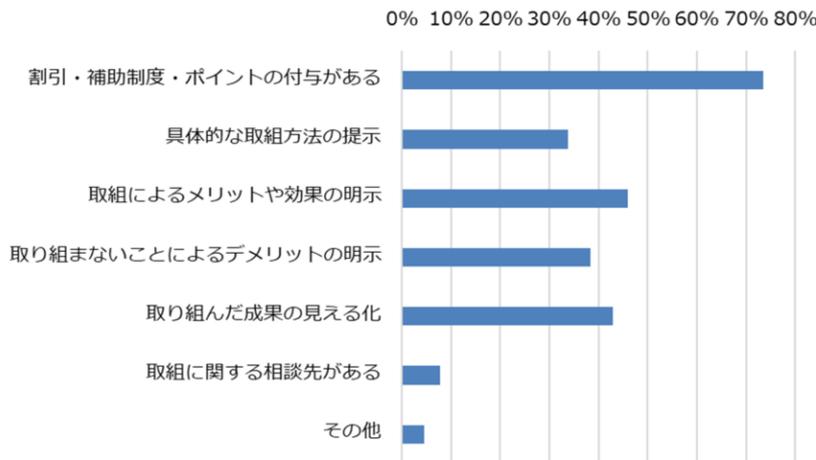
| 選択肢                      | 回答者数 | 構成比 |
|--------------------------|------|-----|
| 節電・節水                    | 217  | 83% |
| 環境に配慮した商品の購入             | 148  | 57% |
| クールビズ・ウォームビズ             | 139  | 53% |
| 環境に配慮した食生活の実施            | 149  | 57% |
| 住宅の断熱化                   | 83   | 32% |
| 太陽光発電・太陽熱の活用             | 76   | 29% |
| 環境に配慮した移動手段の選択           | 95   | 36% |
| ごみの減量化・再利用・リサイクル         | 168  | 64% |
| 地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへの参加 | 33   | 13% |
| 地球温暖化対策に関連する活動への募金       | 30   | 11% |
| 宅配便の1回での受取または宅配ボックスでの受取  | 95   | 36% |
| ペーパーレス化(料金明細書等の電子化)      | 105  | 40% |
| その他                      | 6    | 2%  |

※構成比は回答者数(261)に対する割合

<その他の主な回答>

- ・これ以上、自然破壊をしない
- ・外出時の車の乗り合わせ等

**Q17. どのようなきっかけがあれば、前問で選択した取組を実践できるようになるとおもいますか。  
(複数選択可)**



※構成比は回答者数（261）に対する割合

| 選択肢                 | 回答者数 | 構成比 |
|---------------------|------|-----|
| 割引・補助制度・ポイントの付与がある  | 192  | 74% |
| 具体的な取組方法の提示         | 88   | 34% |
| 取組によるメリットや効果の明示     | 120  | 46% |
| 取り組まないことによるデメリットの明示 | 100  | 38% |
| 取り組んだ成果の見える化        | 112  | 43% |
| 取組に関する相談先がある        | 20   | 8%  |
| その他                 | 12   | 5%  |

＜その他の主な回答＞

- ・ 買い替えた電化製品を有効利用、再利用できるならば、それを知らせること。
- ・ 各種ポイントで寄付ができる
- ・ 温暖化を防ぐ環境的メリット（目的）を何度も確認したい
- ・ ノルマ達成方式が必要
- ・ 事業者側の提供方法の見直し
- ・ 学校での教育
- ・ 自宅で簡単にできる など

**Q18. 地球温暖化対策（省エネや再エネ対策など）に関して、県の施策として求めるものは何ですか。（自由記述）**

【主なご意見（一部要約）】

＜普及啓発、広報に関すること＞

- ・ 先進地区の紹介
- ・ 取組の重要性を県民に徹底し、取り組んだメリットを還元する
- ・ 消費者段階だけでなく製造企業側への積極的な働きかけと税制面等での優遇措置の検討
- ・ 地方自治体の首長や議員自らが取り組む姿勢を見せる
- ・ 自治会などの組織に省エネ推進者を設け、県民全員の啓発を図る
- ・ 多くの方が省エネ活動を意識するような参加型イベントなどを計画する
- ・ 地域公民館等での講習会の実施
- ・ 無関心な層が取り組むような啓蒙活動が必要
- ・ 各種イベントマルシェにて必ず温暖化等環境問題に取り組むブースを一つでも設置する
- ・ 地元中高生を巻き込む
- ・ 推進員が講師として動きやすいようなルールを作る

<補助金、経済的支援に関すること>

- ・太陽光発電に対する補助金制度の創設
- ・古い住宅を改修する際の断熱補助金
- ・省エネ家電、エコカーの購入に対する補助
- ・割引・ポイントの付与制度の施策
- ・補助金や給付金という考え方には反対。

<見える化に関すること>

- ・現状と目標の明示
- ・具体的に一人かどのくらいまで頑張る必要があるのか知りたい
- ・省エネを数値で確認できる取組
- ・取組と成果の見える化・具体的な数値の明示による意識の向上

<メリット・デメリットの付与に関すること>

- ・太陽光パネルの個人宅設置の義務化と設置にかかる費用の負担軽減策
- ・インセンティブもしくはペナルティの付与
- ・事業者側が対策することによるメリットの創出
- ・取入れる企業や個人にはいろいろ大きな還元をする
- ・環境対策は大事だが、そのために県民の生活に悪影響が出ることはなるべく避けてもらいたい

<個別の取組に関すること>

- ・公共交通機関（路面電車やバス）の利用を増やす
- ・長崎県独自の地球温暖化対策アプリを開発する
- ・エコな県産品の開発
- ・今より確実な持続可能新エネルギーの開発に力を入れてほしい
- ・リサイクル業者と行政が連携して、引き取り等の活動がスムーズに行えるシステムを構築する
- ・自然環境を健全に維持する政策と産業をつくる必要があるのではないか
- ・風力発電等の取組
- ・置き配ボックスを各家庭に提供する
- ・各家庭からの電気ガスの節電効果として、公共機関の空きスペースを県民に開放する
- ・自治体ごとの取組に差がないようにしてほしい
- ・軽自動車での普及を進めて欲しい
- ・街路樹、花壇、植栽、公園の在り方
- ・産学官の連携による長崎モデルの提案

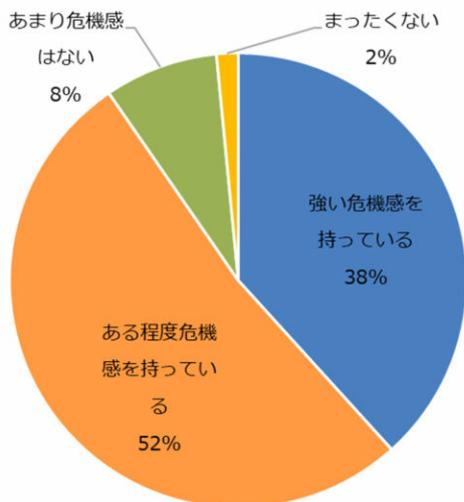
<その他のご意見>

- ・本当に自然環境と人の生活に必要なことは政策で進めていただきたい。
- ・ポイントを現金化して寄付へ
- ・本人の気づきが大切
- ・これ以上、自然破壊をしない

### Q19. 地球温暖化の影響による災害や熱中症などの高リスク化に対し、どの程度危機感を持っていますか。(1つ選択)

(補足)

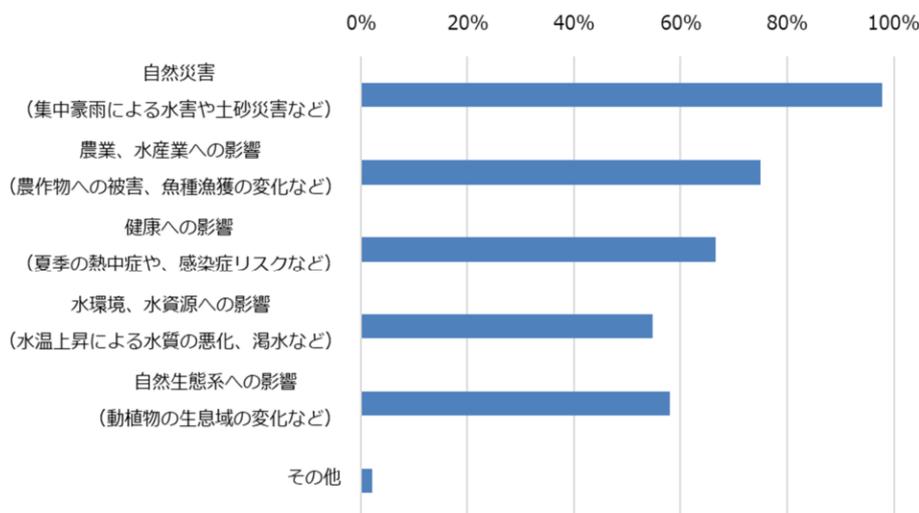
地球温暖化の影響（気候変動影響）により、今後、異常気象による集中豪雨、夏季の熱中症などのリスクが高まると言われています。



| 選択肢           | 回答者数 | 構成比  |
|---------------|------|------|
| 強い危機感を持っている   | 100  | 38%  |
| ある程度危機感を持っている | 136  | 52%  |
| あまり危機感はない     | 21   | 8%   |
| まったくない        | 4    | 2%   |
| 合計            | 261  | 100% |

### Q20. 気候変動による影響としてどのようなことに不安を感じますか。(複数選択可)

※Q19で「強い危機感を持っている」、「ある程度危機感を持っている」を選択した方への設問



| 選択肢                             | 回答者数 | 構成比 |
|---------------------------------|------|-----|
| 自然災害 (集中豪雨による水害や土砂災害など)         | 231  | 98% |
| 農業、水産業への影響 (農作物への被害、魚種漁獲の変化など)  | 177  | 75% |
| 健康への影響 (夏季の熱中症や、感染症リスクなど)       | 157  | 67% |
| 水環境、水資源への影響 (水温上昇による水質の悪化、渇水など) | 129  | 55% |
| 自然生態系への影響 (動植物の生息域の変化など)        | 137  | 58% |
| その他                             | 5    | 2%  |

※構成比は回答者数（236）に対する割合

<その他の主な回答>

- ・ 一国だけではどうしようもない
- ・ 温暖化で地球が悲鳴をあげてるようでとても不安
- ・ 高山や北極、南極の氷河が溶けています。太平洋の島嶼国の水位が上がり生活が困っています。先進国でも、高潮などの災害が多発します。

**Q21. 上記リスクに対し、防災、熱中症対策が気候変動への「適応策」と言われていることを知っていますか。(1つ選択)**

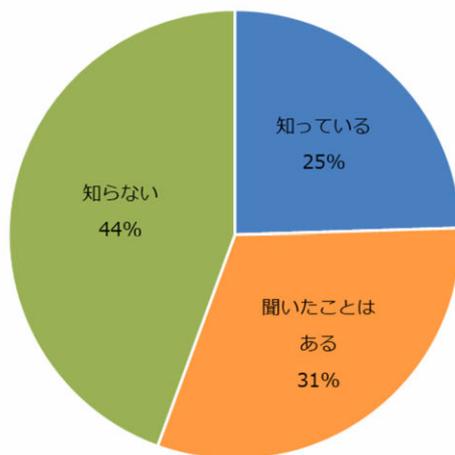
(補足)

地球温暖化をもたらす温室効果ガスを削減するための対策(緩和策)に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を予防・軽減するための対策のことを「適応策」といいます。

例えば、個人でできる取組として、防災対策(ハザードマップの確認、防災グッズの備えなど)、熱中症対策(こまめな水分補給、適切な冷房使用など)があります。

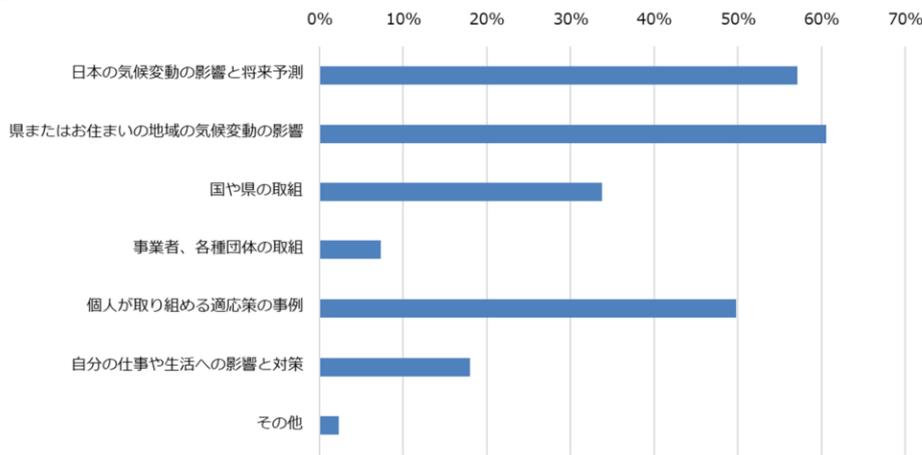
その他、高温に強い作物や品種への変更、節水・雨水使用、治水対策などがあります。

緩和策と適応策は車の両輪に例えられるように、どちらも必要な取組です。



| 選択肢      | 回答者数 | 構成比  |
|----------|------|------|
| 知っている    | 64   | 25%  |
| 聞いたことはある | 81   | 31%  |
| 知らない     | 116  | 44%  |
| 合計       | 261  | 100% |

**Q22. あなたが、気候変動や適応策について知りたい情報は何ですか。(3つまで選択可)**



| 選択肢                 | 回答者数 | 構成比 |
|---------------------|------|-----|
| 日本の気候変動の影響と将来予測     | 149  | 57% |
| 県またはお住まいの地域の気候変動の影響 | 158  | 61% |
| 国や県の取組              | 88   | 34% |
| 事業者、各種団体の取組         | 19   | 7%  |
| 個人が取り組める適応策の事例      | 130  | 50% |
| 自分の仕事や生活への影響と対策     | 47   | 18% |
| その他                 | 6    | 2%  |

※構成比は回答者数（261）に対する割合

<その他の主な回答>

- ・温暖化が本当かどうかはわかりませんが、気候変動についてはもっと考えたい
- ・積極的に取り組んでいる企業について、取組内容をTV等で紹介する
- ・今後 100 年の温暖化
- ・地域ごとの想定されるリスクとその対応策、そして公・民の役割分担と実際の図上訓練の実施

**今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。**